

王総としょだより

王子総合高等学校 図書館案内 Vol.77

場 所 : メディア棟 2 階
蔵 書 冊 数 : 23,469 冊
新 聞 : 8 紙
雑 誌 : 17 誌

読みたい本をリクエストしてみませんか。

1 学期の終業式後、図書委員会の有志 5 名が司書教諭の豊田先生と一緒に池袋ジュンク堂書店に行きました。目的は「ブックハンティング」。これは中高生などが「図書館に置いてほしい本」や「他の学生に読んでほしい本」を大型書店で直接選ぶイベントのことです。この日、51 冊の本が選ばれました。

参加のみなさんは初めての選書活動をたいへん楽しめたようです。

もうすぐ“読書の秋”です。もし書店に行くことがあって「これ、友だちにも読んでほしいな」という本があれば学校図書館でリクエストしてみてください。採用されれば「王総生おすすめ本」となります。

加えて、図書委員会活動に関してのご案内。

今年の桜橙祭にて「しおりづくり」を計画しています。期間中、奮ってご来館ください。

図書紹介

『多様性は美しい—分類からはみ出る愉快な生物の世界』

稲垣栄洋【著】 さくら舎 分類 361

みなさんは、タカとワシの区別はつきますか？また、イルカとクジラの違いはなんでしょう？

これらは、なんとその「カラダの大きさ」で境い目を決めています。

本来、自然界には境い目はありません。境い目は人間が自然を理解するために便宜上作られました。

それが「分類」です。その分類は上述のように意外と適当で、はっきりした区別点がなかったりします。

このことを、植物学者である著書がとても平易に説明しています。

ちなみに質問です。アリ・ウニ・タコ3つの生物のうち、系統発生的に人間に最も近い生物はどれでしょう？

驚きの答えと理由は、本書 98 ページにあります。

『よかれと思って言ったのに 実は人をモヤッとさせる 失言図鑑』

失言研究所【編者】 黒川伊保子【解説者】サンクチュアリ出版 分類 461

巻頭に、「100 の気の利いた言葉をかけるより、たった 1 回の失言をさけよう」とあります。

編者「失言研究所」は、話し方や伝え方をテーマとするベストセラー本を手がけてきた編集者など“言葉のプロ”が構成員です。本書は 300 人に取材して集めた 100 の失言について分析・考察し注意を提案しているものです。読んでみるとコミュニケーションが一筋縄ではいかないことを再認識します。

小特集「ちくま Q ブックスはノンフィクション読書」

「ちくま Q ブックス」というシリーズを知っていますか？

これは、筑摩書房が刊行している 10 代向けのノンフィクションシリーズです。

シリーズ名の「Q」は、「Question なぜ？から Quest 探究へ」を意味しています。

正解することよりも探究することの大切さを伝えています。

単なる知識の習得ではなく、自分自身で問いを立てる学びを意図しています

本校にはこのシリーズが 17 冊蔵書されています。1 冊はおよそ 100 ページ前後。易しい文体で書かれていて普段あまり読書をしない人にも読みやすい構成です。科学、哲学、社会問題、アート、ゲーム、生命倫理など幅広いテーマには、総合的な探究の時間や課題研究のヒントがあるかもしれませんね。

